



本書は習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想の発展の経緯と主要な内容を集中的に反映し、中国共产党が人類の平和と発展の事業を促進するために貢献した中国の知恵と中国のプランを十分に体現している。本書は習総書記の2014年8月18日から17年9月29日までの間の講話、談話、演説、指示、祝電など計99編の文章を収録し、17のテーマに分かれ、読者が理解しやすいように、必要な注釈も丁寧に入れられている。

出版 外文出版社

発行 2017年11月

定価 上製本120元

もう一つは、地域発展の構造がより合理的になることだ。昨年3月、党中央、国务院は雄安新区設立を決定した。これは深圳經濟特区、上海浦东新区に続く全国的意義を持つ新区であり、千年の大計、国家の大計である。中国は都市圏を主体とする、大・中・小都市と集落が調和して発展する都市部構造を次第に形成し、地域調整の仕組みがより成熟し、生産要素の配置と流動がより効果的になる。

第3に、経済成長の背景としての生態環境がより美しくなっている。「習近平経済思想」は、グリーン発展が解決を重視するのは質の高い発展における人と自然の調和という問題で、グリーン発展でなければ、生態系が破壊され、自然も人間も滅亡に向かうと提起する。昨年、中国の生態環境の状況は明らかに改善され、大気、水、土壤の汚染予防・対応活動は明らかに効果を挙げ、単位GDP当たりのエネルギー消費量、単位GDP当たりの二酸化炭素排出量は年間の予定目標を繰り上げ達成し、主な汚染物4種類の排出量削減は年間の制約的指標を超過達成した。19大報告は「グリーン」を現代化強国の中核目標と初めて位置付け、今年の中央経済活動会議は汚染予防・対応の難関攻略戦をしっかりと行うことであらためて強調した。これは生態文明建設の推進についての党中央の断固とした決意と政策決定の力

第4に、経済成長の開放的な構造がより強さを示している。中国は経済成長のグリーンエネルギー時代を切り開いていく。

湖北省遠安県の菜の花の畑。ここ数年、中国は経済成長を求めるに同時に、生態環境の改善やグリーンで調和のとれた発展の実現に力を入れている(新華社)

習近平経済思想と中国経済の発展



湖北省遠安県の菜の花の畑。ここ数年、中国は経済成長を求めるに同時に、生態環境の改善やグリーンで調和のとれた発展の実現に力を入れている(新華社)

暗号通信の柱となるネットワークから旅客機C919と水陸両用航空機AG600の初飛行の成功まで、さらにライフサイエンス、スペースサイエンス、モバイル決済など多数の分野における国際的なイノベーションで世界から注目された。中国のオリジナルライフサイエンス、モバイル決済はさらに新たな段階に入り、世界の先端科学技術を十分に取り入れた上で、新しい道を開き、中国の特

第2に、経済成長の協調性がより顕著になっており、「習近平経済思想」は、バランスのとれた発展が解決を重視するのではなく、名実共に経済成長をけん引する駆動が生産要素による駆動に取って代わる傾向がよりはつきりしている。

第3に、経済成長の協調性がより顕著になつていて、「習近平経済思想」は、バランスのとれた発展が解決を重視するのではなく、名実共に経済成長をけん引する駆動が生産要素による駆動に取って代わる傾向がよりはつきりしている。

第4に、経済成長の協調性がより顕著になつていて、「習近平経済思想」は、バランスのとれた発展が解決を重視するのではなく、名実共に経済成長をけん引する駆動が生産要素による駆動に取って代わる傾向がよりはつきりしている。

第5に、経済成長の結果がより公平なものになっている。「習近平経済思想」は、公平な発展は社会主義制度の優位性の根本的な体現であり、共同富裕は小康社会(ややゆとりのある社会)の全面的建設の最終目標であると提起する。昨年、全国民1人当たりの可処分所得は9%以上増加し、都市部と農村部住民の1人当たりの可処分所得はそれぞれ8.3%と8.7%増加し、年初に定めた所得増加と経済成長をほぼ同期させるという目標を超えて行つた減税・費用整理は1兆120



胡鞍鋼

清华大学国情研究院院長、清华大学公共管理学院教授、博士課程指導教授。1988年に中国科学院の工学博士の学位を取得し、91年から92年まで工学院経済学部で博士研究員として在籍。2004年にロシア科学アカデミー東洋学研究所から経済学博士の称号を得る。中国の国情研究に関連する著作が日本語を含めて多言語に翻訳・出版されている。

0万元(約1700億ドル)近くになり、世界で人口の最も多い中間所得層をさらに確保・拡大し、20年に小康社会を全面的に完成するための国民所得の倍増と貧困の完全撲滅という目標を期日通りに実現するためには、依然として全世界で国民所得の増加が最も速い国だった。昨年、営業税から増值税への移行を含め、中国が企業に対して行つた減税・費用整理は1兆120

中国共产党第19回全国代表大会(党大会、19大)では習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想が確立され、新时代における14カ条の基本方針が打ち出された。そのうち、「二つの中心、五大发展理念」は新时代の発展を統率する新理念であり、習近平が打ち出した創意ある中国の発展思想と発展真理である。「二つの中心、五大发展理念」は習近平経済思想の核心となるもので、「人民を中心とする」発展思想の堅持は、誰のために発展を求めるかという問題の解決だ。「五大发展理念」の堅持はいか

に発展するかという問題の解決であり、中国の経済活動とマクロコントロールを指導する上での主軸である。この5年間、中国は経済に起きた一連の大きな変化と重要な成果が十分に証明したように、習近平は新时代の中国の特色ある社会主義経済の法則を正しく反映したものだ。中国の特色ある社会主義経済建設は発展に向かって新たな道を切り開いた。

第1に、経済発展におけるイノベーションの原動力がより強くなっている。「習近平経済思想」は、イノベーションによる発展が解決するのは質の高い分野で多くの成果を挙げ、量子コンピュータ、高速鉄道「復興号」、世界初の量子

色ある「トンネルでの追い越し」というイノベーションの道を歩み、先発の優位性をつくり出し、世界的なイノベーションの流れに連携して、世界のイノベーションの流れにリードしていく。イノベーションは経済成長においてますます重要な役割を果たしている。昨年の中国の研究開発への投資額は1兆7000億元に達し、研究開発費の割合は2.1%を超過、欧州連合(EU)の初期メンバー15ヶ国を上回り、技術取引額の国内総生産(GDP)に占める割合は2010年の0.95%から昨年の1.56%まで上昇し、技術取引額は1兆2500億元を超えた。これはまた「本当の財産」であり、科学技術による寄与率は10年の50.9%から進歩による寄与率は10年の50.9%から昨年の57.1%まで上昇し、科学技術による駆動が生産要素による駆動に取って代わる傾向がよりはつきりしている。

第2に、経済成長の協調性がより顕著になつていて、「習近平経済思想」は、バランスのとれた発展が解決を重視するのではなく、名実共に経済成長をけん引する駆動が生産要素による駆動に取って代わる傾向がよりはつきりしている。

第3に、経済成長の協調性がより顕著になつていて、「習近平経済思想」は、バランスのとれた発展が解決を重視するのではなく、名実共に経済成長をけん引する駆動が生産要素による駆動に取って代わる傾向がよりはつきりしている。

第4に、経済成長の協調性がより顕著になつていて、「習近平経済思想」は、バランスのとれた発展が解決を重視するのではなく、名実共に経済成長をけん引する駆動が生産要素による駆動に取って代わる傾向がよりはつきりしている。

第5に、経済成長の結果がより公平なものになっている。「習近平絏済思想」は、公平な発展は社会主義制度の優位性の根本的な体現であり、共同富裕は小康社会(ややゆとりのある社会)の全面的建設の最終目標であると提起する。昨年、全国民1人当たりの可処分所得は9%以上増加し、都市部と農村部住民の1人当たりの可処分所得はそれぞれ8.3%と8.7%増加し、年初に定めた所得増加と経済成長をほぼ同期させるという目標を超えて行つた減税・費用整理は1兆120